

第115期 決算を終えて

平成28年3月1日から平成29年2月28日まで

当期の事業活動について

特集

生産から物流まで、久光製薬の供給体制

医薬品を安定的にお届けするために

トピックス

貼付剤による治療文化を世界へ

米国でリドカイン4%を含むサロンパスを発売
サロンパス リドカイン ペインリリービング ジェルパッチ

経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤
[HP-3060] 国内製造販売の承認を申請

 **Disamitsu**®

米国でリドカイン4%を含むサロンパスを発売 サロンパス リドカイン ペインリリービング ジェルパッチ

久 光アメリカは、リドカイン4%を含む鎮痛ジェルパッチの新製品「サロンパス リドカイン ペインリリービング ジェルパッチ」を米国市場で発売しました。リドカインは、神経痛や手足のしびれの症状に有効な局所麻酔薬成分です。本剤は、処方箋なしで利用可能な最大強度のリドカインが含まれており、また神経の鎮静効果に優れた独自のハイドロゲル技術を使用しています。当社グループは、引き続き「貼付剤による治療」の効果を追求し、世界中の人々の健康に貢献していきます。

経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤 [HP-3060] 国内製造販売の承認を申請

ア レルギー性鼻炎治療剤の新たな選択肢として期待される[HP-3060]は、国内第Ⅲ相比較臨床試験における有効性および安全性の確認を経て、昨年12月に製造販売承認を厚生労働省に申請しました。本剤は、TDDS (Transdermal Drug Delivery System：経皮薬物送達システム) 技術を用いて開発した全身性のテープ剤です。経皮吸収型の治療剤として、安定した血中薬物濃度を維持し、効果を持続できる特長があります。今後、平成29年度中の承認取得を目指し、早期の製品化により医療への貢献を果たしていきます。

CONTENTS

トピックス	1	事業の概況	7
第115期決算のご報告	2	配当金について	9
特集		連結決算ハイライト	10
— 生産から物流まで、 久光製薬の供給体制 —	3	連結財務諸表(要約)	11
スポーツ活動支援	5	会社の概況/株式情報	13
CSR活動	6	インフォメーション	14

■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。



代表取締役社長
最高執行責任者(COO)
中富 一榮

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)
中富 博隆

第115期決算のご報告

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第115期(平成28年3月1日～平成29年2月28日)の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場の医療用医薬品は、主力の「モーラス®テープ」が薬価改定および診療報酬改定の影響を受けた為、減収となりました。一般用医薬品は、「サロンパス®」を中心に売上を伸ばし、のびのび®サロンシップ®ブランド、フェイス®ブランドの新製品も寄与したところから、増収となりました。

海外市場の医療用医薬品は、後発品との競争激化の中で売上が減少しました。一般用医薬品は、「サロンシップ®」を中心に売上を伸ばし、増収となりました。

以上により連結業績は、売上高1,459億2千5百万円(前期比9.8%減)、営業利益263億6百万円(同5.1

%減)、経常利益281億7千9百万円(同0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益203億9千5百万円(同14.7%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の増加は、ノーベン社による「Brisdelle®」「Pexeva®」の製造販売承認権譲渡に伴う利益を計上したことなどによるものです。

なお当社は、事業環境の変化を踏まえ、改めて「第6期中期経営方針」を策定・始動いたしました。本方針のもと、5年後の平成33年度における「売上高1,700億円」「営業利益340億円」「ROE8.0%以上」の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

医薬品を安定的にお届けするために



患者さんの健康と生命にかかわる企業として、久光製薬は医薬品の生産・物流体制の強化に努めています。安全で安定的な医薬品供給を維持し続けること。それは社会に対する久光製薬の約束なのです。

海外拠点と連携した生産体制

当社は、西日本拠点として鳥栖工場（佐賀県）、東日本拠点として宇都宮工場（栃木県）の2カ所による国内生産体制を確立しています。2011年の東日本大震災発生により宇都宮工場が被災した際は、鳥栖工場で代替生産を行



鳥栖工場
当社発祥の地にある生産拠点で、貼付剤を生産しています。



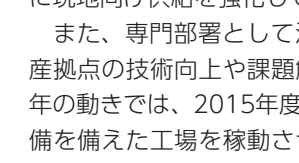
宇都宮工場
最新鋭の生産設備を整え、貼付剤の生産を行っています。



久光インドネシア
2015年に新工場を竣工し、インドネシア国内および周辺国向け貼付剤を生産しています。



久光ベトナム
海外で最も大きい生産拠点で、貼付剤やクリーム剤などを生産し、一部輸出しています。



ノーベン社
アメリカの生産・研究拠点で貼付剤を生産しています。



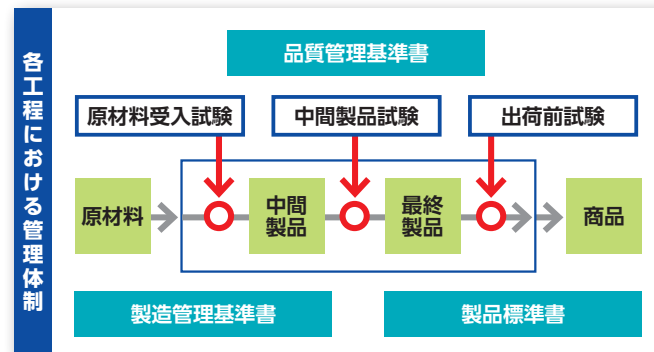
久光ブラジル
南米の生産拠点で、ブラジル国内向け貼付剤を生産しています。

い、医薬品の供給を維持しました。海外においても医薬品を販売していますが、より安定的な供給体制を構築すべく、アメリカ、ブラジル、ベトナムおよびインドネシアの生産拠点との連携を図り、主に現地向け供給を強化しています。また、専門部署として海外生産支援課を設け、海外生産拠点の技術向上や課題解決の支援を行っています。近年の動きでは、2015年度に久光インドネシアが最新の設備を備えた工場を稼働させ、さらなる現地生産力の増強を果たしました。

製造工程における万全の品質管理

鳥栖工場および宇都宮工場では、厚生労働省の定めによるGMP（医薬品の製造管理および品質管理に関する基準）に則り、作業訓練を受けた担当者が医薬品製造に従事しています。製造ラインは、原料投入から製品包装まで機械化され、各種計測器・センサーを設置した厳格な品質管理体制の下に生産を行っています。

原材料、中間製品および最終製品に対する検査は、公的試験方法あるいは科学的に確立した独自試験方法により実施しています。

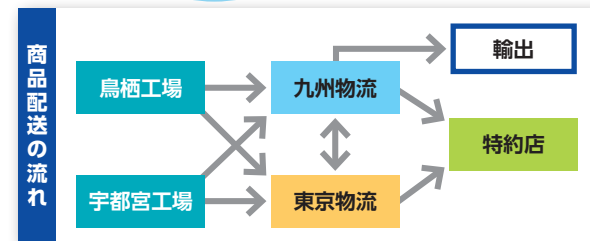


画像左) 試験検査の様子
画像右) 医薬品原料メーカーに対するサプライヤー監査の実施

お客様の信頼に応える物流体制

鳥栖工場で生産された医薬品は、鳥栖インターチェンジに近接した物流センターからの出荷を中心とする「九州物流」、宇都宮工場で生産された医薬品は、埼玉県久喜インターチェンジに近い物流センターからの出荷を中心とする「東京物流」を経由し、それぞれの地域をカバーする形で、全国特約店へのサプライチェーンを構築しています。輸出は「九州物流」経由で行われます。

各物流センターは、管理薬剤師を配して医薬品の品質管理を徹底しつつ、出荷量の情報を工場と共有し、お客様への安全かつ安定的な供給を支えます。



女子バレーボール皇后杯 史上初5連覇を達成!



ストレート勝ちで大会を制した久光製薬スプリングス

昨年12月25日、大田区総合体育館で行われた「平成28年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会」の決勝戦で、久光製薬スプリングスは、日立リヴァーレとの一騎打ちをストレート勝ちで制し、史上初の皇后杯5連覇を達成しました。

試合は、第1セット序盤から先行し、第2セットは中盤からの巻き返しで奪取。優勝が目前に迫った第3セットも、そのままペースを握り続け、王者の貫録を見せました。

ウイングスパイカーが着実に点を決め、センター陣の強力なブロックも光ったこの日の試合。チーム一丸となって栄冠を勝ち取る姿が会場を大いに沸かせました。



中田久美監督の後任に就いた 酒井新悟新監督がチームを指揮

久光製薬スプリングスは、中田久美監督が全日本女子バレーボールの新監督に内定したことを受け、昨年10月25日付で、堺ブレイザーズの監督や東京オリンピック強化選手チーム「TeamCORE」の男子監督を務めた酒井新悟氏を後任監督に迎えました。

久光製薬スプリングス総監督には中田久美氏が就き、酒井監督との2人体制で勝利に導きました。

東京マラソン2017に協賛 恒例のイベントサポートで参加者をケア

東京都庁をスタート地点とする「東京マラソン」に協賛し、大会を毎年サポートしています。今年からコース変更となり、フィニッシュが東京本社の近くになりました。「東京マラソン2017」当日は、エアール®サロンプラス®ジェットαのサンプリングを行いました。



救急法普及へ日本赤十字社に教材を贈呈 マッチングギフト制度「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」

当社はCSR活動の一環として、マッチングギフト制度による「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」を運営しています。これは、会員となった役員・従業員が毎月拠出する金額に対して、会社が同額を上乗せし、集まった基金を社会貢献に役立てるものです。



昨年9月には、当社「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」より日本赤十字社へAED練習機96台と救急法普及のためのWeb教材(総額850万円)を贈呈しました。AED練習機96台は、日本赤十字社本社および全国47支部に配備され、救急法普及のためのWeb教材は、日本赤十字社のウェブサイトにて公開されています。



環境負荷低減への共同事業 清原工業団地エネルギーセンター (仮称)

環境負荷の低減に向けて、当社およびカルビー株式会社、キヤノン株式会社の3社は、東京ガスグループとの連携による取り組みを開始しました。3万kW級のガスコージェネレーションシステムを備えた「清原工業団地エネルギーセンター(仮称)」を平成31年までに建設し、国内初の「工場間一体省エネルギー事業」を実現します。



「CSR報告書2016」を発行 グローバルCSRを考える特集企画

1年間のCSR活動状況をお伝えする「CSR報告書2016」を発行しました。今回は「グローバルCSR」を特集記事のテーマに掲げ、海外展開において重要な位置づけとなる久光ベトナムでステークホルダーダイアログを実施するなど、詳細なレポートを掲載。内容は下記ウェブサイトにてご確認ください。

当社CSRサイト
www.hisamitsu.co.jp/company/csr.html



事業の概況

当期の概況

医療用医薬品事業

医療費抑制策が進む中、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型貼付剤を中心として、医療機関への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、重点商品のケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」および「モーラス®パップXR」、「モーラス®パップ」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ®テープ」、鎮痛効果の高いフェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」、ブプレノルフィン含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「ノルスパン®テープ」、オキシブチニン塩酸塩含有の経皮吸収型過活動膀胱治療剤「ネオキシ®テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

一般用医薬品事業

重点商品の経皮鎮痛消炎剤などの販売に加えて、新商品を投入し、新規顧客創造活動に努めました。

平成28年4月には、経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび®サロンシップ®F」と経皮鎮痛消炎テープ剤「フェイタス®Zαジクサス®」および「フェイタス®Zαジクサス®大判」の販売を開始しました。

「のびのび®サロンシップ®F」は、これまでではがれやすいとされていた関節部位にもしっかりと貼りつくよう

粘着力を改善しました。また四隅を丸くした薄型タイプのシップ剤のため、貼付後に衣服を着てもゴワつきがなく、端からはがれることが軽減されました。

「フェイタス®Zαジクサス®」および「フェイタス®Zαジクサス®大判」は、ジクロフェナクナトリウムを2.0%、l-メントールを1.0%配合したWダブル鎮痛処方の経皮鎮痛消炎テープ剤です。従来品と比べフィット感とはがしやすさが向上したほか、当社技術によりジクロフェナクナトリウム配合貼付剤として初めて使用期限が2年から3年に延長されました。

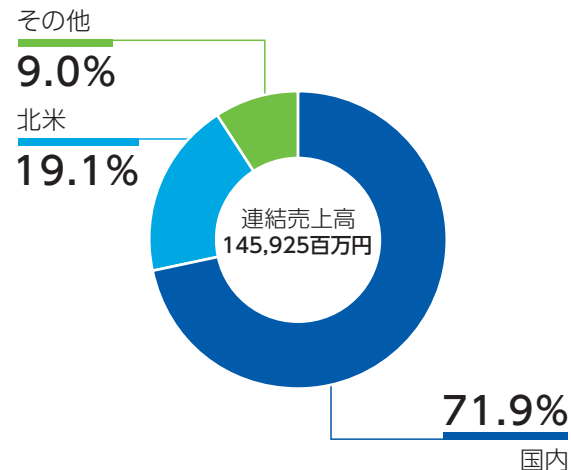
海外事業

米国においても新たな「Salonpas®」の販売を開始しました。

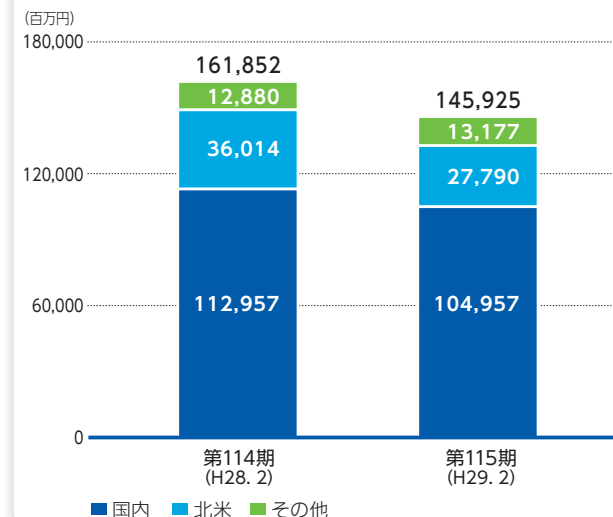
サロンパス®ブランドは、海外においても積極的な販売促進活動を展開し、米国の一般用医薬品外用鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位を獲得しています。

また、海外子会社である久光インドネシアでは新工場を稼働させ、サロンパス®ブランドの生産能力を拡大し、現地化を進めています。

地域別売上高構成比



地域別売上高の推移



次期の見通し

次期の見通しにつきましては、医療費抑制策の影響や企業間競争の激化など引き続き厳しい事業環境が続くと予想されており、当社グループでは次のように取り組んでいきます。

国内の医療用医薬品事業につきましては、医療機関への学術情報活動を一段と強化するとともに、医療機関・患者さんのニーズに合致した新しい局所性および全身性の医薬品開発を目指します。

国内の一般用医薬品事業につきましては、重点商品の外用鎮痛消炎剤の売上伸長を図るとともに、お客様のニーズにお応えできるよう既存商品の改良および新

商品の開発を行います。

海外の事業展開につきましては、知的財産、製造技術および品質管理技術を含めた当社ブランドの確立を図るとともに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の促進を図ります。

次期の業績予想については、売上高1,470億円(前期比0.7%増)、営業利益241億円(同8.4%減)、経常利益256億円(同9.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益185億円(同9.3%減)を見込んでいます。

配当金について

利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を最重要課題と認識し、安定的な配当の継続を基本と考えています。

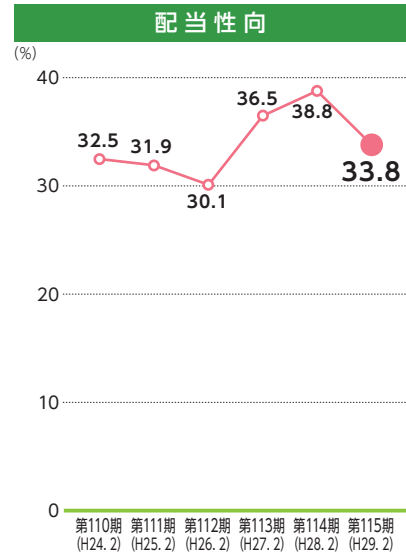
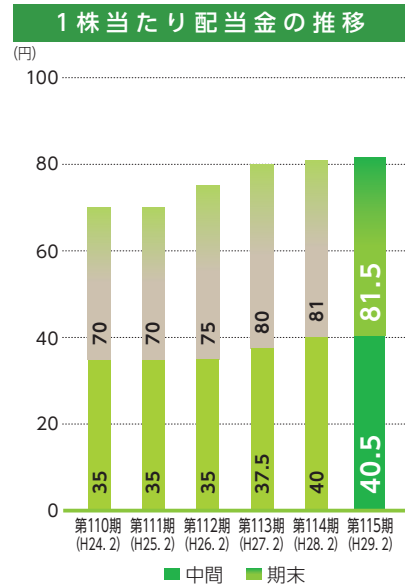
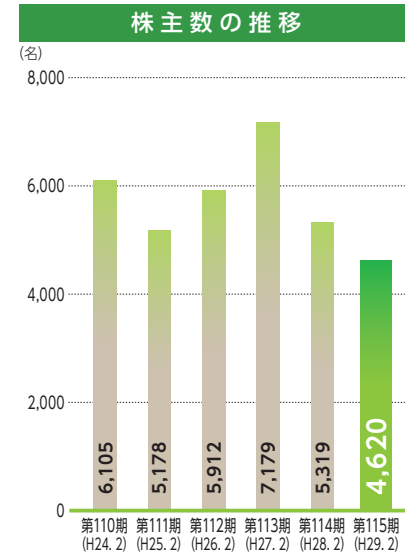
このほか、株主の皆様への有効な利益還元策として、自己株式取得などの財務諸施策を機動的に遂行します。

内部留保資金については、研究開発の推進、生産設備の拡充および海外事業の展開などに重点的に投資し、経営基盤の

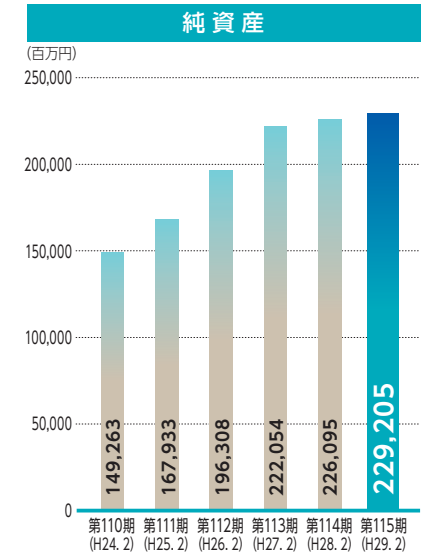
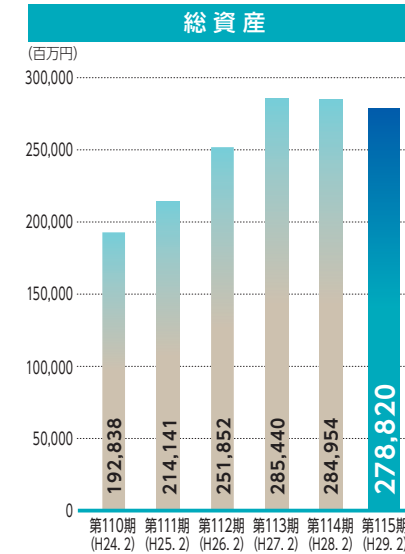
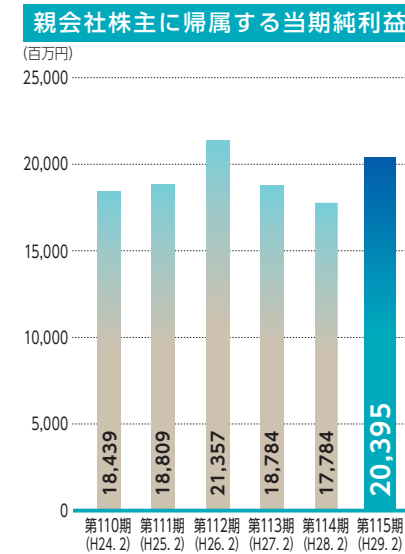
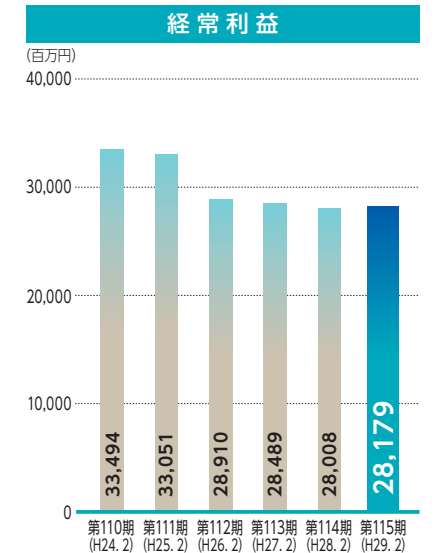
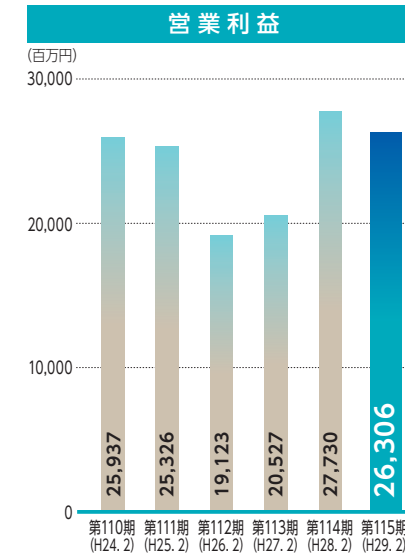
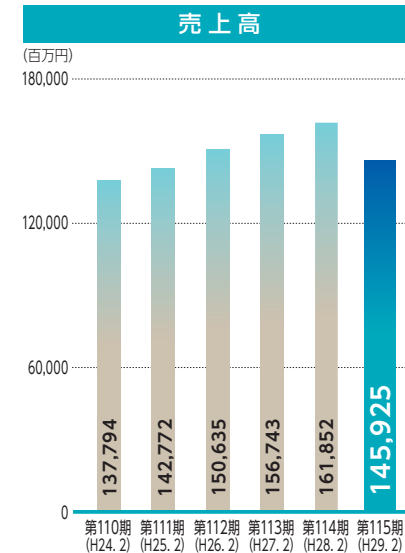
強化を図ります。

当期の配当は、期末配当金を1株につき41円とし、中間配当金40.5円とあわせて年間81.5円といたしました。

また、次期の配当につきましては、中間配当金41円、期末配当金41円とし、年間で1株につき82円を予定しています。



連結決算ハイライト



連結財務諸表 (要約)

Point 1 資産

総資産は2,788億2千万円となり、前連結会計年度末と比べて61億3千4百万円減少しました。主な増減は、受取手形及び売掛金(15億5千万円減)、商品及び製品(25億9百万円増)及びのれん(39億5百万円減)です。

Point 2 負債

負債合計は496億1千4百万円となり、前連結会計年度末と比べて92億4千4百万円減少しました。主な増減は、未払法人税等(36億4千8百万円減)及びその他流動負債(41億8千1百万円減)です。

Point 3 純資産

純資産合計は2,292億5百万円となり、前連結会計年度末と比べて31億1千万円増加しました。主な増減は、利益剰余金(134億8千9百万円増)及び自己株式(86億7千1百万円減)です。

Point 4 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高は1,459億2千5百万円(前期比9.8%減)、営業利益は263億6百万円(同5.1%減)、経常利益は281億7千9百万円(同0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は203億9千5百万円(同14.7%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (H29.2.28 現在)	前期 (H28.2.29 現在)
資産の部		
流動資産	172,097	171,760
固定資産	106,722	113,194
有形固定資産	43,031	43,851
無形固定資産	5,973	12,522
投資その他の資産	57,718	56,820
資産合計	278,820	284,954
負債の部		
流動負債	32,425	40,997
固定負債	17,189	17,862
負債合計	49,614	58,859
純資産の部		
株主資本	203,897	201,561
その他の包括利益累計額	24,007	23,430
新株予約権	203	101
非支配株主持分	1,097	1,000
純資産合計	229,205	226,095
負債純資産合計	278,820	284,954

連結損益計算書

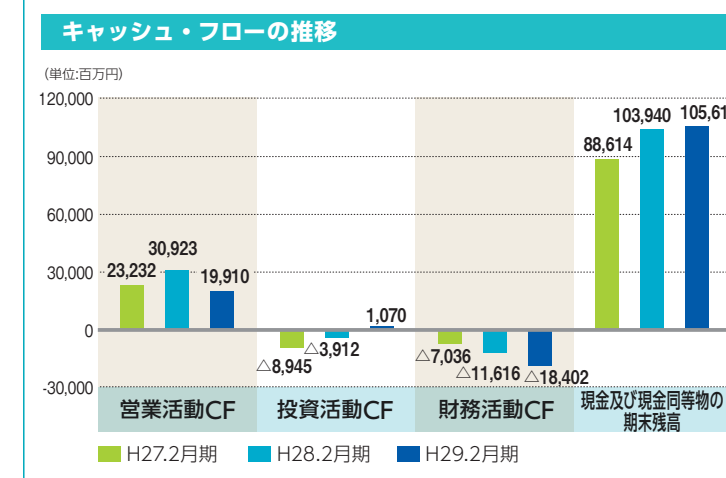
(単位:百万円)

科目	当期 (H28.3.1から H29.2.28まで)	前期 (H27.3.1から H28.2.29まで)
4 売上高	145,925	161,852
売上原価	53,155	58,319
売上総利益	92,770	103,532
販売費及び一般管理費	66,464	75,802
4 営業利益	26,306	27,730
営業外収益	2,034	1,214
営業外費用	160	936
4 経常利益	28,179	28,008
特別利益	4,231	2
特別損失	2,426	89
税金等調整前当期純利益	29,984	27,922
法人税等	9,443	9,993
当期純利益	20,541	17,929
非支配株主に帰属する当期純利益	146	145
4 親会社株主に帰属する当期純利益	20,395	17,784

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (H28.3.1から H29.2.28まで)	前期 (H27.3.1から H28.2.29まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,910	30,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,070	△ 3,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,402	△ 11,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 909	△ 67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	1,669	15,326
現金及び現金同等物の期首残高	103,940	88,614
現金及び現金同等物の期末残高	105,610	103,940



Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益(299億8千4百万円)、減価償却費(64億3千8百万円)、法人税等の支払額(112億2千8百万円)などにより、199億1千万円の収入(前連結会計年度は309億2千3百万円の収入)となりました。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出(31億2千5百万円)、製造販売承認権譲渡による収入(32億8千万円)などにより、10億7千万円の収入(前連結会計年度は39億1千2百万円の支出)となりました。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出(111億5千3百万円)、配当金の支払額(69億4千4百万円)などにより、184億2百万円の支出(前連結会計年度は116億1千6百万円の支出)となりました。

Point 8 現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度末と比較して16億6千9百万円増加し、1,056億1千万円となりました。

会社の概況／株式情報 (平成29年2月28日現在)

会社の概要

創業 弘化4年(1847年)
設立 昭和19年5月22日
資本金 8,473,839,816円
従業員 2,751名
事業所

当 社	東京本社	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
支 店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、東京第二支店、東京第三支店、名古屋支店、京都支店、大阪第一支店、大阪第二支店、広島支店、高松支店、福岡第一支店、福岡第二支店、台北支店、シンガポール支店	
	営業所	さいたま営業所、千葉営業所、横浜営業所、金沢営業所
工場	宇都宮工場、鳥栖工場	
研究所	筑波研究所、鳥栖研究所	

子 会 社	国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、株式会社タイヨー(佐賀県)、九動株式会社(佐賀県)、久光エージェンシー株式会社(福岡県)
	海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、ヒサミツ ユーケー リミテッド(英国)、ヒサミツ ベトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(ベトナム)、久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア)他3社

取締役及び監査役 (平成29年2月28日現在)

代表取締役会長(CEO)	中 富 博 隆	取 締 役	鶴 田 敏 明	常 勤 監 査 役	中 富 舒 行
代表取締役社長(COO)	中 富 一 榮	取 締 役	高 尾 信 一 郎	常 勤 監 査 役	平 野 宗 彦
専 務 取 締 役	杉 山 耕 介	取 締 役	齋 藤 久	監 査 役	小 野 桂 之 介
常 務 取 締 役	秋 山 哲 雄	取 締 役	堤 信 夫	監 査 役	小 野 永 哲 男
常 務 取 締 役	肥 後 成 人	取 締 役	村 山 進 一		
		取 締 役	川 伊 三 夫		
		取 締 役	川 貞 二 郎		

(注) 取締役 市川伊三夫、古川貞二郎は、社外取締役です。
(注) 監査役 小野桂之介、徳永哲男は、社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数 380,000,000株
発行済株式の総数 95,164,895株
株主数 4,620名

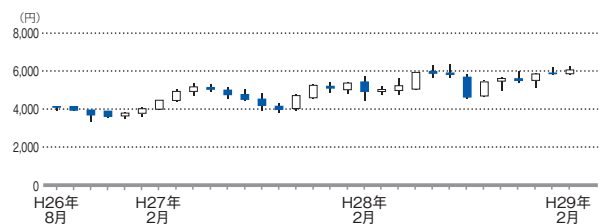
大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,281
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,296
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,871
株式会社佐賀銀行	2,956

所有者別分布状況



株価の推移



インフォメーション

事業年度 3月1日～翌年2月末日
定時株主総会 毎年5月に開催
配当金受領 2月末日
株主確定日 中間配当金を支払うときは、8月31日
基準日 定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。

公告方法

電子公告により公告
<http://www.hisamitsu.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所

東京・名古屋証券取引所
各市場第1部及び福岡証券取引所

証券コード

4530

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問合せ先

久光製薬株式会社 九州本社
総務部 株式課
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

商品に関するお問合せ先

久光製薬株式会社 東京本社
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-133250
受付時間 9:00～17:50
(土日、祝日、会社休日を除く)

株式に関する手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取(買増)請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ウェブサイト

最新の会社情報を当社ウェブサイトに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



<http://www.hisamitsu.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



Hisamitsu®

伝えよう 手から手へ

170th
Anniversary

僕も、もっと前に!
全力出すんで!



こり いやす
5月18日は
サロンパスの日



貼って、寝て、
きもちいい。

サロンパス®

肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品



©この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。☎0120-133250 受付時間／9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く) www.hisamitsu.co.jp

サロンパス

検索